



6月給食だより

2024

小美玉学校給食センター

6月は「食育月間」です



「人生100年時代」といわれるようになりました。生涯にわたって、心身ともに健康で生き生きと暮らしていくために、あらゆる世代の人が「食べる力」を身につける必要があります。買い物や料理など、食事の支度を家族と一緒にするなど、食の体験を深め、食べる力を育みましょう。

食育とは…

(食育基本法・前文より)

- 生きる上での基本であって、知育・徳育および体育の基礎となるべきもの
- さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること



食育で育てたい「食べる力」

<p>1 心と身体の健康を維持できる</p> 	<p>2 食事の重要性や楽しさを理解する</p> 	<p>3 食べ物の選択や食事づくりができる</p> 
<p>4 一緒に食べたい人がいる(社会性)</p> 	<p>5 日本の食文化を理解し伝えることができる</p> 	<p>6 食べ物やつくる人への感謝の心</p> 



給食では食育の一環として、6月～3月に小美玉市認定農業者協議会に所属する、認定農業者さんから仕入れた地産地消費材を使用した給食を提供します。

小美玉市の認定農業者を紹介します！



〈じゃがいも生産者〉
株式会社フジタファーム
代表取締役
藤田 和宣さん

(株)フジタファームさんは百里基地周辺で5種類の露地野菜を栽培しています。総栽培面積は約67ha、中でもじゃがいもは35haもの面積で作っています。じゃがいもは暑さにとっても敏感な野菜です。夏の猛暑を乗り越えられるような栽培方法を日々試行錯誤しながら、皆さんに美味しいと思ってもらえる野菜作りを心がけているそうです。暑さに負けず元気に育ったじゃがいもを幼稚園・小学校は27日(木)、中学校は26日(水)に「じゃがいものうま煮」で提供します。

農業について知ろう！～マルチ栽培について～

黒いビニール(マルチシート)に覆われた畑を見たことがありますか？この栽培方法をマルチ栽培と言います。じゃがいもも品種によってはマルチシートで栽培します。マルチ栽培の利点は、土壌にまいた消毒の効果が逃げない事です。ただし、同時に熱も封じ込めるため、暑さに弱いじゃがいものマルチ栽培は、農家さんが気をつけながら行っていることで成り立っています。



食べることはごく当たり前のことで、「かんで飲み込む」という動作を意識しながら食べている人はあまりいないかもしれません。しかし、食べ物の形状によっては、よくかまずに飲み込んでしまうと窒息する危険性があります。給食を安全に楽しく食べるために、以下のことに気をつけましょう。



食べるときに**注意**が必要な食品



★歯の生えかわりでよくかめない人は、箸やスプーンで小さくする、パンは一口大にちぎる、口に詰め込み過ぎないなど、特に気をつけて食べましょう。



給食だよりは毎月配布しますので、目を通していただき、家庭での食生活の参考にしてください。

～保護者の方へ 給食費に関するお願いとお知らせ～

◎事情により給食を食べないときは、学校への届出（連絡）をお願いします。その月内で連続して7日以上食べない場合、届出（連絡）により給食費の日割り計算を行います。
※さかのぼっての返金は、行いません。事前に届出（連絡）が必要です。
※連続して7日以上とは・・・その月内で土・日・祝日などを除いた日数が、連続7日以上のことを言います。